



都会なんて幸せじゃない。 なるべく田舎のままであってほしいですね。

——この仕事を選んだ理由は……
僕は団体行動がきらいなんで、フリーでやる仕事をしたいと思ってました。コピーライターでなくても、ミュージシャンでも、映画監督でも、何でも良かったんです。特別に物を書くことが好きなわけではなく、手っ取り早かったんです。二十五歳の頃、一応フリーになったんですけど、人から見たら失業中みたいなもんでね。本格的なフリーになったのは五、六年前です。——
仕事上の苦勞は……一番気を使うのは、今までにないものをやらなければならぬこと。それに、コピーっていうのは、難しいことでも偉そうなこともないです。あくまで普通の消費者の

今回は、大活躍のコピーライター 魚住勉さんを東京の事務所を訪ね、お話を伺いました。
広告業界ではすでに超一流ですが、「地味に生きたい」とマスコミに出たがらない魚住さん。インタビュなどもほとんど断っている、とのことでしたが、熊本ならば、と特別に時間を作ってもらいました。

人たちと同じ目の高さで物を言わなけりやいけません。普通の言葉で、わかりやすく、やさしく。
——魚住さんはマスコミに出たがらないそうですが……
出るのいやなんです。顔が知られると不自由で、街を歩いても人の視線が……
有名になりたい、金持ちになりたい、という人はそうすればいい。別に悪いことじゃないから。ただ、それで幸せになるということじゃないと思うんです。若い人たちに、そういう誤解をしてほしくないですね。
——コピーライターにアコガれる若者が多いようですが……
やめたがいでしょうね。一流になろうと思っても、ほんのひと握りですから。無理して、人を押し付けたりして頑張っても、なくす物の方が大きいですよ。
それでもなりたいたしたら、大事なのは人のまねをしないことです。一流と言われる人は、先生なんかいなくて自分で切り開いた人で、そんな人は自分なりの語り口を持っています。
それに、いい人であってほしいですね。金もうけとか、広告の賞をとるために作ったコピーは偽善的なにおいがわかんんです。素直で、正直で、心のこもったコピーを書いてほしいですね。
——さて、最近の熊本の印象は……
帰るたびに大きくなってますね。若い人はすごく都会的です。

でも、熊本らしい特徴がなかったら寂しいですね。熊本県人と言えば柔道の山下、あんな強い奴がいるのは誇りなんです。熊本の人と云えば演歌歌手、そんな泥臭いのが誇りなんです。
熊本弁も使ってますよ。ただ東京では本音の熊本弁は通じませんね。
「ぬしや、何は言よつか。」なんて言っても全然わからないですよ。「ぬしや、こつちけ。くらすっけん。」なんてね。(笑)
——熊本に望むものは……
都会なんて幸せじゃないですよ。なるべく田舎のままであってほしいですね。僕は歳とったら田舎で暮らしたいんです。

うおずみ へん
○昭和二十二年一月、熊本市生まれ。
○熊本高校、慶応大学経済学部卒。
○日本デザインセンター、サン・アド・戸田魚住広告事務所を経て、昭和五十四年、魚住勉事務所設立。
○昭和五十四年、五十八年、TCC（東京コピーライタークラブ）グラプリ受賞。



児童生徒 緑の作文コンクール

来年五月、「ひろげよう緑の文化」をテーマに全国植樹祭が開かれます。その記念行事として小・中学生を対象に作文を募集します。
〈課題〉緑に関すること。特に題は特定しません。
〈応募資格〉県内の小・中学生
〈応募方法〉四百字詰原稿用紙四枚以内（学校名・学年・氏名・性別を明記すること）
〈締切〉十月三十一日（水）（当日消印有効）
〈送付先〉〒八六二 熊本市水前寺六一八-1 熊本県・全国植樹祭準備室（☎〇九六-一三三-一一一一 内線二六二・二二六二）（全国植樹祭準備室）

くまもと84農林水産博

農林水産業の発展の可能性を語り、消費者のみなさんに理解を深めていただくため、「くまもと84農林水産博」を開催します。
〈とき〉十一月十日（土）～十二日（月）
〈ところ〉熊本城二の丸広場、サンロード新市街ほか
〈内容〉農林水産技術の展示、熊本を支える農林水産物などの展示と販売、農林水産討論会（農政課）

貯蓄講演会

私たちが取りまく内外の時局や経済に対する認識を深め、生活設計や貯蓄について考える貯蓄講演会を開催します。入場は無料です。
〈とき〉十月十二日（金）午後二時～四時
〈ところ〉鶴屋デパート七階ホール
〈演題〉「高度情報化社会を如何に生きるか」
〈講師〉今井彬（フジテレビ・ニューメディア対策室長）（県民生活総室）

くまもとの身近な薬草教室

身近にある薬草を見直し、薬草の利用方法について正しい知識を持っていたらこうと、次のおり薬草教室を開催します。
〈とき〉十月十四日（土）午前十一時～午後三時
〈ところ〉鹿本郡市医師会館
〈内容〉講話「くまもとの身近な薬草」（熊本大学薬学部・浜田善利先生、身近な薬草の展示（業務課）

豊かな高齢化社会を考える 国民の集い——熊本集會

高齢化社会にどのように対応していくか、みなさんと一緒に考える集いを開催します。
〈とき〉十月十六日（火）～十七日（水）
〈ところ〉熊本産業文化会館ほか
〈内容〉基調講演（熊本女子大学教授・小寺清孝）、パネルディスカッション、分科会、記念講演（評論・樋口恵子）（社会保険課）

熊本女子大学公開講座 地域講演会

県では、みなさんの文化活動発展の一助として地域講演会を開催しています。本年度は、本渡市と人吉市で、「暮らしと法律」「日本文学における親子関係」をテーマに行います。
受講料は無料です。
◎本渡会場
〈とき〉十月四日（木）午後一時～四時
〈ところ〉本渡市民センター
◎人吉会場
〈とき〉十月二十八日（日）午後一時～四時
〈ところ〉人吉・球磨田園都市中核施設カルチュアパレス（私学文書課）

くまもと社会保険 センターオープン

みなさんの健康づくりと生きがいのある場として、十月八日、くまもと社会保険センターが、熊本市長嶺町にオープンします。
センターには、新しい設備が整い、一流の講師陣による各種の講座が用意してあります。
主なコースは、シエイブアップダンス、高齢者大学、くらしの経済と法律、手編みなどがあります。ほかに、社会保険相談、保健婦による保健相談も行います。（保険課）

後記 編集

▽八ページ「私の一〇〇〇字提言」ではエアロビクス教室のよう撮影しましたが、真夏の体育館はまるで蒸し風呂。それでも「若さ」と「健康」のために、ご婦人方は元気いっぱい飛びはね、いい汗を流していらつしやいました。
女性ってたくましい！
▽二十五ページ「この人と三十分」の魚住勉さん。時代最先端の売れっ子コピーライターなので、奇抜な人柄を予想していたのですが、意外に平凡でやさしい方でした。そこからあたたかみのあるコピーが生まれるんですね。
——表紙説明
今回の表紙写真は、九州女子短期大学の写真部に撮影をお願いしました。
同写真部は、八月の暑い盛り、阿蘇で合宿を行いました。昼の撮影会では、お互いがモデルになりながら、思い思いの構図で撮影に熱中。
「撮る側」、「撮られる側」の両方を経験して、学ぶ事が多かったということ。この写真は、コスモスの咲く草原で撮ったもの。「九女の乙女」のイメージアップともいうべき会心の一枚ですね。